

高校・大学教育における 科学実験の意義と課題

～実験による学びとアクティブラーナーの育成～

科学実験を通じて、アクティブラーナーをどのように育成していけるのでしょうか？

今回は、高校から学士課程卒業時までの各段階で行われている

科学実験の事例を共有し、カリキュラムの接続や

アクティブラーナー育成における実験の

意義と課題を再検討します。



2018. 8.21

火

九州大学西新プラザ 大会議室

〒814-0002 福岡県福岡市早良区西新2丁目16-23

定員
150人
参加費
無料

プログラム 司会：小湊 卓夫(九州大学基幹教育院 准教授)

12:30 受付開始

13:00~13:05 開会挨拶 丸野 俊一(九州大学理事・副学長・基幹教育院長)

13:05~13:15 趣旨説明 小島 健太郎(九州大学基幹教育院 准教授)

第1部 先進的な取り組み事例

13:15~13:45 特別講演1(卒業研究の事例) 大阪大学大学院理学研究科 教授 川畑 貴裕
「学術研究を目指す卒業研究-ビッグバン元素合成の謎に挑んだ大学生-」

13:45~14:15 特別講演2(高校の事例) 福岡県立戸畑高校 教諭 井上 哲秀
「高校における課題研究の取り組み」

〈休憩10分〉

第2部 九州大学の取り組み事例

14:25~14:50 講演1 (高大連携の事例) 九州大学副理事・基幹教育院 教授 副島 雄児
「FC-SPの取り組みと科学研究活動」

14:50~15:15 講演2 (大学初年次の事例) 九州大学基幹教育院 教授 小早川 義尚
「自然科学総合実験への統合とその改革」

15:15~15:40 講演3 (専攻教育の事例) 九州大学大学院理学研究院 准教授 伊藤 芳雄
「専門教育としての実験科目-理学部化学科(3年)における有機化学実験-」

〈休憩10分〉

15:50~16:25 総合討論(質疑応答を含む)

司会:小島 健太郎 登壇者:講演者全員

16:25~16:30 閉会挨拶 谷口 説男(九州大学基幹教育院副院長・教授)



地下鉄西新駅7番出口より徒歩約10分

※会場には駐車スペースがございませんので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

参加申込

以下のホームページからお申し込みください。
<http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp>

申込締め切り

8月16日(木)